

## 第 34 回情報処理センター等担当者技術研究会の報告

共通機器部門 情報基盤機器管理班 松岡 大夢

### 1. はじめに

国立大学、公立大学等の情報系センター等に勤務する技術職員が集まる本研究会は、大学における情報システムおよびネットワーク基盤の管理・運用に関する問題点や解決策を議論、共有することができる数少ない機会である。新しい技術を習得し、業務に取り入れ業務の効率化を図るとともに、他大学等の技術職員との繋がりを作るため、本研究会に参加した。

### 2. 期間・場所

期間：令和 5 年 9 月 14 日、15 日

場所：北見工業大学 3 号館 2 階 多目的講義室

### 3. 参加者等

国立大学、公立大学等の技術職員、61 名が参加した。

### 4. 研修内容

2 日間で現状報告 9 件、研究発表 4 件、特別講演 2 件を聴講して、各大学等の情報系センターが行っている取り組みの状況や課題、その解決方法を学んだ。また、施設見学として北見工業大学に隣接するカーリング施設でのカーリング体験が行われた。

### 5. まとめと感想

今回は 4 年ぶりに現地のみでの開催（昨年度はハイブリッド開催）となった。オンラインでの参加は移動時間がなく時間の有効活用ができる反面、途中で音声聞こえなくなったり、画像が動かなくなったりすることがあるとともに、自席での参加は他の業務をしながら参加することもあり、現地参加は有意義であった。また、それぞれのメリット・デメリットを痛感した。

現状報告や研究発表では、DX への取り組みやセキュリティ対策、システム更新に向けた対策・取り組みに関するテーマが多かったと感じた。本学でもまさしく類似の取り組みを行っているので、参考になる点もあり興味深かった。今回得られた知見を今後の業務に役立てていきたい。また参加機関の半数近くがオンプレで端末室を運用していることが分かり、本学では運用終了に向けて対応しているので、今後何らかの形で共有できたらいいなと考えている。施設見学のカーリング体験は残念であったが、時間の都合上、今回は欠席した。